

骨子案の体系	主な意見
オンリーワンの魅力創出	・天文館の若手飲食店事業者との意見交換では、焼酎や飲食店を活用したスタンプラリーなどの新たな企画提案があった。また、「焼酎ガーデン」等の取組での滞在延長や消費拡大も考えられる。（県飲食業生活衛生同業組合） ・市内だけでなく周辺地域と連携した広域的な回遊促進の仕組みも有効と考える。（県飲食業生活衛生同業組合）
戦略的な誘客推進	・MICE誘致については、学会等の継続的な誘致活動が重要である。また、音楽コンサート等については、開催時間の工夫などにより宿泊需要を喚起する視点も必要である。（鹿児島商工会議所）
観光客の満足度を高める受入環境づくり	・閑散期の需要を獲得していくには、観光客に鹿児島の魅力、感動体験を訴求していくことが重要であるが、感動は五感のみならず、人の思いやりや親切心といった要素からも生まれると考える。（市ホテル旅館組合）
稼ぐ観光の基盤強化	・実施主体が誰になるのかが重要な論点である。（県飲食業生活衛生同業組合） ・DMOとしては、民間事業者との連携が重要であり、現場の声を的確に把握したうえで取組を進める必要があると考えている。（鹿児島観光コンベンション協会） ・「稼ぐ観光」の実現には、事業者が収益を実感できる仕組みが不可欠である。宿泊単価は他都市と比較して低水準にあり、単価向上に向けた取組が必要である。また、人材不足が深刻化しており、待遇改善や働きやすい環境の整備も重要である。（鹿児島商工会議所） ・従業員の高齢化が進んでいる。（市ホテル旅館組合）